

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時における地域との協力体制が整っていない。	地域の方との合同による避難訓練の実施。	未だグループホーム認知が浸透していないので、広報誌の発行を続けながら、行事参加、散歩等通じて幅広い方々に知ってもらおう。グループホームが主体となって勉強会、講習会を開催しつつ、年2回の避難訓練への参加を呼びかけ、施設内にとどまらず災害時における連絡体制を構築する。	6 か月
2	55	ハンドタオルが共有されており感染予防に欠ける。	感染症への理解を深め、安全かつ安心して住める環境を整備する。	ハンドタオルの廃止。ペーパータオルを導入し使い捨てにすることで感染を防止する。また職員1人1人にマニュアルの周知、感染症への理解を深め手指消毒の徹底を強化する。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。